

大衆の時代（ニューヨークの超高層ビル群）



＊毛利家文庫81 写真105 「ニューヨーク市写真帳」

- (写真①) 「紐育市役所」
(写真②) 「第五街 小売商店ノ中心ニシテ服装等流行ノ中心ナリ」
(写真③) 「ブルークリン鉄橋 約五十年前ノ建造ナルトモ鉄橋ノ下部ハ新式戦艦ノ航通自由ナリ」「マンハッタン鉄橋 橋梁ヲ吊レル上部四條ノ鉄線ノ重量六千三百噸（約百七十萬貫目）アリ」
(写真④) 「ブロードウェイ街シンガーミシン建物及ウルウオース建物等ヲ望ム此付近ハ商業及財界ノ中心ナリ」

解説

1920年代、アメリカは他の国に先駆けて大衆社会を実現させました。ニューヨークには摩天楼と呼ばれた超高層ビルが建ち並び、街には自動車があふれ、家庭には冷蔵庫・洗濯機・掃除機・アイロンなどの電化製品が普及しはじめました。ジャズなどの新しい音楽が生まれ、人々は映画・ラジオ・野球観戦などの娯楽文化に包まれました。

写真は1919（大正8）年発行のイラスト集『New York The Wonder City』です。ニューヨークの超高層ビル、巨大なつり橋、自由の女神像、都市公園、路面電車や自動車、多くの人々が行き交う繁華街の様子などが色鮮やかなイラストで紹介されています。また、それぞれの絵には日本語によるメモ書きがそえられています（キャプション部分）。

